

クローズアップ NGO・NPO

移住労働者と連帯する全国ネットワーク（移住連）

大曲 由起子

ネットワークだからこそできる、 真の多民族・多文化共生社会実現に向けた活動

■「移住連」という ■全国ネットワークのはじまり

名前からも分かるように、移住連は個々の団体や個人の「ネットワーク」です。80年代から移住者・移住労働者の相談に応じ、さまざまな地域で支援活動を行ってきた団体が、ネットワークを形成し始めます。90年代に入り、埼玉、群馬、長野、神奈川で関東を中心とした地域フォーラムが毎年開催され、やがて「全国」規模のネットワーク化への機運が高まり、1996年、福岡で「第1回移住（外国人）労働者問題全国フォーラム」が開かれました。そこで、「全国規模でフォーラムを開くところまで発展し、強められてきた既存のネットワークを継続的なものにしよう」という思いから、「移住労働者と連帯する全国ネットワーク」が結成されました。地域的に幅広く、メンバー構成や組織・活動形態が多様な市民団体を包括するネットワークとして、共同行動等のコーディネートを主眼に置き、活動が始まりました。

■多民族・多文化が共生する社会を ■目指すために ～3つの活動の柱～

多様な団体が形成した全国ネットワークは、日本で暮らす移住外国人の権利を守り、その自立への活動を支え、多民族・多文化が共生する日本社会を作る、という目的を共有しています。その共通目的を達成するため活動するのが移住連です。活動内容は多岐に亘っていますが、アドボカシー、

ネットワーキング、そして広報・情報発信という3つの柱があります。

アドボカシー活動としては、国政レベルでの制度・政策と地域での取り組みをつなげるため、毎年省庁との意見交換会、要請の場を設けています。最初は労働省だけでしたが、今日は移住外国人に関するさまざまな政策課題ごとに、省庁横断的に要請を行っています。2012年は難民・収容、貧困、女性、在留管理、労働、研修・技能実習制度、教育、震災、医療の9つの分野ごとに、省庁と意見交換の場を設けました。その他個別課題に応じて交渉したり、議員へのロビイング等を行ったりしています。交渉の内容はネットワークで共有し、国政と地域での活動を双方向で結びます。

そもそも「ネットワーク」団体である移住連にとって、ネットワーキング活動もとても重要です。各地の団体を結ぶため、毎年フォーラムかワークショップを開催しています。最近では仙台（2010年）、名古屋（2011年）、新潟（2012年）で開催し、そして2013年6月には神戸でフォーラムを開催します。関係団体や個人が一堂に会するこの機会には、その時々課題が各地から持ち寄せられ、白熱した議論が各分科会で行われます。ワークショップは泊まり込みが恒例となり、夜通し議論を行う場合もあります。その他「マーチ・イン・マーチ」などのイベントも他団体と協力して開催しています（写真参照）。

広報と情報発信のため、移住連では毎月『Migrants Network』（Mネット）という情報誌を発行しています。日本や海外の移住者の状況につ



働く人の権利を訴える移住労働者音楽祭「マーチ・イン・マーチ」の様子

いて、さまざまなトピックを取り上げています。その他さまざまな書籍を編集・発行してきました。例えば『移住者がくらしやすい社会に変えていく30の方法』（合同出版）、『包括的移民政策の構築へ向けたロードマップ』、『移住(外国人)女性DV施策に関する自治体調査と提言』、『日本で暮らす移住者の貧困』、『外国人相談窓口案内』、『多民族・多文化共生社会のこれから：NGOからの政策提言』などが挙げられます。また、書籍を通してだけでなく、メーリングリスト「migrant-j」を運営し、ネット上でも移住者、人々に役立つ情報を収集し発信しています。

■ こんなにある！ ■ 移住者に関するテーマや課題

移住連には個別テーマに絞ったプロジェクトや連携しているサブ・ネットワークが存在します。例えば「生活と権利のための外国人労働者総行動実行委員会」（労働を専門的に議論する）、「研修生権利ネットワーク」、「女性プロジェクト」、「入管法対策会議」、「医療・生活ネットワーク」、最近では「貧困プロジェクト」もできました。また、他団体と連携して、人種差別撤廃法など外国人に関わる法制度問題に取り組んだり、難民・収容、人種差別、人身取引といった問題に対処したりしています。

さらに国際人権部では、海外、特にアジアのNGOと連携し、国際レベルでの共通課題に取り組んでいます。日本は主に移住者・移住労働者受け入れ国としての側面が強いですが、移住者の出

身地域のNGO等と連携して行動を国際化していくのは、人の流れがグローバル化した今日では欠かせないものと言えるでしょう。

■ 未来に向けて

ネットワークを構成する個別団体の主体性を大切にするゆるやかなネットワークとして移住連は発展してきましたが、今後はその特性を生かしつつ、組織としてもう一步先に踏み出せないか、模索しています。さらなるネットワークの拡充と結びつきを強めていくにはどうしたら良いのか、市民の運動として広がりを持たせるために、新たなネットワークづくり（自治体や当事者団体等との連携）ができないか、考えています。また、各地域の現場からの声を反映させつつ、実際に政策として実現可能な提言をネットワークの力で編みだしていかなければなりません。今後もさまざまな個人・団体の支えのもと、活発な活動を続けていきます。

『Migrants Network』購読者募集中！

（5月号特集：「日本で暮らすムスリム家族」）

バックナンバーも販売中です。詳しくは移住連事務局までお問い合わせください。

移住連事務局：

東京都文京区小石川2-17-41 TCC2-203

TEL：03-5802-6033

第9回移住労働者と連帯する 全国フォーラム・神戸2013

（2013年6月15・16日、甲南大学）

お問い合わせ：

TEL：078-851-2760

FAX：078-821-5878

メール：2013kobeforum@ksyc.jp

お申し込み：

<http://ksyc.jp/2013kobeforum/index.html>
にて申込み用紙がダウンロードできます。